

## 1. 2024年度体制について

UBEバドミントン部 及び後援会 の2024年度体制は以下の通りになります。

【バドミントン部】		【後援会役員】
▽オーナー	高瀬太(新任)	▽会長 末廣秀樹(継続)
▽部長	今福健介(継続)	▽副会長 安田耕司(継続)
▽副部長	松尾光平(継続 及び選手兼務)	▽副会長 吉川直樹(継続)
▽監督	米元優樹(継続)	
▽主将	壇 隆介(新任)	

※理事も昨年度と変更ありません。

- 【引退】 古川、藤井、山下 の選手3名が3月末を持ちまして選手を引退しました。  
 今後は部のサポートを行います。
- 【コーチ】 今年度から新しく桐田が選手兼任でコーチに就任しました。

## 2. 後援会役員 新年度挨拶

### <末廣会長>



陽春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 さて、UBEバドミントン部後援会も皆様のご支援ご協力をおもちまして13年目を迎え、  
 これもひとえに会員各位のご支援の賜物と心から御礼申し上げます。  
 昨年度はコロナ感染症の5類移行後、行動制限も緩和された中で大会が開催され、中国  
 実業団大会は優勝、全日本実業団大会はベスト16、S/JリーグIIは準優勝など好成績  
 を上げることができ、S/Jリーグ昇格の兆しが見えるシーズンとなりました。  
 本年も基本的な感染対策をとりながらの大会となりますが、これまでの経験と実績を糧  
 に、更に個々の力を高め、チーム一丸となって、「S/Jリーグ昇格」に向け、選手・ス  
 タッフ共に取り組んでまいります。  
 皆様におかれましては、何卒引き続きのご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

### <高瀬オーナー>



皆さま、こんにちは。  
 昨年度からオーナー代行を、そして今年度からオーナーを務めさせて頂いています。  
 どうぞよろしくお願いいたします。  
 昨年度は、5月の中国実業団選手権大会の優勝を皮切りに、全日本実業団大会ではベスト  
 16への返り咲き、S/JリーグIIでは6勝1敗で優勝チームと同率の準優勝と、成績の  
 良かった1年だったのではないかと思います。監督、主将、選手の皆さんは、「まだまだ  
 上位を目指してやれる！」という手ごたえを感じていると思いますし、私もそれを期待し  
 ています。これもチームの皆さんの日頃からの努力の賜物ですし、なにより後援会の皆様  
 の温かい御支援のおかげであると感謝申し上げます。  
 昨年は残念ながら試合を見に行くことができませんでしたが、今年は是非会場に足を運んで大きな声で  
 応援したいと思っております。年間の派遣予定試合が皆さんへ連絡されていると思います。多くの方々に会場へ  
 足を運んで頂いて、そして大きな声援を頂ければ必ず選手達の勇気、力になると思っております。どうか、  
 ご協力をよろしくお願い致します。

## 3. 2024年度は新入部員の加入はありません。

## 4. バドミントン部 新年度挨拶

### <米元監督>



平素より、バドミントン部の活動にご支援賜り誠にありがとうございます。  
 まずは世界のバドミントンに目を向けますと、パリ五輪代表をかけて国際大会を1年間戦  
 うオリンピック選考レースが先日終了しました。  
 4年に1度の舞台を目指し、極限状態の中で鎗を削る選手の中にはプレッシャーや環境変  
 化で実力を発揮できない選手や、怪我に苦しむような結果が得られなかった選手もた  
 くさんいたと思います。オリンピック本番に出場する選手は出場が叶わなかった選手の気  
 持ちも背負って戦う姿をみせる。これこそがスポーツの見どころのひとつと感じています。  
 さて、当部におきましては、昨年は全日本総合選手権に過去最多の5名が出場するなどチーム全体の底  
 上げを実感することができた一方で、S/JリーグIIでは一昨年に続き準優勝に甘んじ、トップリーグ昇  
 格を逃したことが悔やまれる1年となりました。同大会では初日にエースダブルスとして起用した選手の  
 コンディションが上がらず、途中からペア変更を余儀なくされました。しかしながら急造ペアとして送り  
 出した選手が期待にこたえて躍動してくれた姿をみて、きっと退いた選手も報われたのではないかと感じま  
 した。その経験を糧に今年こそS/JリーグII優勝を目標に練習に励んでくれることを期待します。  
 S/JリーグII・滋賀県大津市でお会いできるのを楽しみにしております。

## <壇主将>



新年度を迎えるにあたり、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度より主将を務めることになりました壇です。

昨年度のS/JリーグIIでは、一昨年度に続き2位という結果でした。藤井選手の5年連続全勝に加えダブルス陣についても選手全員が助け合いチームの勝利に貢献しましたが、目標のS/Jリーグ昇格には一步届かず悔しい結果となりました。

個人戦については福間選手が全日本社会人選手権大会でベスト16入賞、中国地区総合選手権大会ではUBE選手で3冠し一昨年度に引き続き5名が全日本総合に出場しました。そのうち福間選手、桐田選手が本選に出場し、チーム全体として確実にレベルアップをしていると感じました。本年度は選手、運営等大きく変化があります。これまで前キャプテンの古川選手が中心となって築き上げてきた素晴らしいチームを引き継ぎ目標のS/Jリーグ昇格を目指して精進してまいります。

今後とも引き続き、皆様からのご声援とご指導をいただきますよう、よろしくお願い致します。

## 5. 近況の主な大会

5月10日～12日	第56回中国実業団選手権大会(広島県呉市)
6月1日	国体一次選考会(下松市/メリゲートアリーナ)
6月19日～23日	第74回全日本実業団選手権大会(宮城県仙台市)
7月20日	第67回中国地区総合県予選(山口県光市)

本紙に関するお問い合わせは [e-mail :25742u@ube.com](mailto:25742u@ube.com)

〒755-0024 山口県 宇部市 野原 1-2-38  
UBEバドミントン部後援会事務局 吉川 直樹